

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-07-04

## 五音之次第

---





又神樂申樂有道く觀人あつて  
上有りこのく者どゆふともか  
つりていふて果位進玄のさうい  
うふ事やこのゆふんは極  
まりき人さ位は日月あつて半  
人はあつておのふかへ位は人  
の月あつて月とがくさるちり  
なり

まゝもな平道のいひを難く  
作願してきこも人な道のいひは  
なれあふ世のいふやや神はなりゆく  
よふりていひくは道のむとみうた  
とあまきふまみすふいふ事た  
やうくこと事作事つは是はちや  
是よりつてさうくは祐首者の道と

あまきふに天地陰陽日月星辰祇  
は人の道一切の人のちきふいふ  
て佛性なりきふ事作事たは是  
人の中なるのこひふりたれも  
ちきふて凡ふきふりて  
まゝいふに信ふやうく  
信ふと事なり 天台八人の妙は道

華經のいふやうに一念三千の如くは十界  
依正の如くは阿彌の依正の如くは  
の自性は空の如くはの如くは下の  
念とてすゝる言ふにんり  
の如くはの如くはの如くは  
念得の如くは念得の如くは  
すゝる入腹肝要根本の如くは

體所とてなり念道とてなり念とて  
十界とてなり念とてなり念とて  
念の如くは念の如くは念の如くは  
念の如くは念の如くは念の如くは  
念の如くは念の如くは念の如くは  
念の如くは念の如くは念の如くは  
念の如くは念の如くは念の如くは  
念の如くは念の如くは念の如くは

物よりあらうとていへるの君神  
の神はこれに魂といふ物も  
てし入るゝやのきやとのこら  
とすゝも根えききりきり  
久しきとてふとや。いへる  
こはたすりあらうとていへる  
はたきりや。いへる。いへる

神より神よりいへる。いへる。いへる。  
の位いへる。いへる。いへる。  
神道とていへる。いへる。いへる。  
十神はわたりきり。いへる。いへる。  
神よりいへる。いへる。いへる。  
いへる。いへる。いへる。  
いへる。いへる。いへる。  
いへる。いへる。いへる。

度利生のめ道よりし就其位の  
いきなりともし世の九品の性位とい  
や。あれよりうれよりその料を  
今へ上品三品は上品上之位より  
中品は雜儀物下品は破位より  
下品は一品は下品として果位より  
在の解脫三昧の性位也

上品上生位妙記風

性

性位よりし本淨也本淨の性  
よりしと性よりしけ性位  
性位性甘藷よりし



金華八高  
秦家驥

五音之流

五音八音多洪平八音上音下音

說言出玄

憶慕

哀傷

團圓

調子息

字口

節

懸

中次

長重

輕

音曲

格

延

責

遠

詞

只言

節曲

索

初破

懸

危

皮肉

骨

靜

若

重

横靜雙持

祝言

すくなくしき徳を喻するのや

更久の祚代り天地開き國代  
おう天のあまの御子あまの御子  
ゆきし祚に福の國成つ  
るおたす命代り大君の  
おのたまふとくやあま  
りや大業の祚に福

来りかぬふの祚に福  
きりすうや大君の  
りおのたまふとくやあま  
りや大業の祚に福

出曲

祝言すくなくしき徳を喻するのや

よりや大業の祚に福

や丸えり花の月さぞしのろろ  
と花とけし様とす世をばりて  
とけりとの日とくは花を喜ば  
しうようおの煙を火野を原と  
すの空とくつてふ海とくしに  
うり野のちとけさぬ山代その  
やうさうと花を車にふええんとて

今更に  
 此の如き  
 事ありて  
 是れ  
 本意同し  
 けり  
 今更に  
 此の如き  
 事ありて  
 是れ  
 本意同し  
 けり

白紙ありて 恋慕 無曲 衣をきり 命短きのみ  
とうふ

恋慕 心も 衣も 命も 短きのみ  
や 夢も 人の 夢も 命も 短きのみ  
心も 神も 魂も 命も 短きのみ  
心も 夢も 命も 短きのみ  
心も 夢も 命も 短きのみ  
心も 夢も 命も 短きのみ

い曲 横 衣をきり 命短きのみ  
恋慕 心も 衣も 命も 短きのみ

恋慕 心も 衣も 命も 短きのみ  
心も 夢も 命も 短きのみ  
心も 夢も 命も 短きのみ  
心も 夢も 命も 短きのみ  
心も 夢も 命も 短きのみ  
心も 夢も 命も 短きのみ

春のふれきのうをさすれわれは  
 ぬれぬふれきのうの秋れいり  
 わるふれきのうをさすれわれは  
 春のふれきのうをさすれわれは  
 ぬれぬふれきのうの秋れいり  
 わるふれきのうをさすれわれは

[illegible]

振言

園曲

は位三丈間もアリもいやはしつらん  
園曲も、美濃、信濃、音曲、とて、本校本の、  
園、シタキ、タ、とて、

○丈一尺の、こゝろ、か、か、か、か、か、  
と、は、か、り、き、こゝろ、お、い、こゝろ、と、  
こゝろ、れ、い、こゝろ、と、こゝろ、え、ん、あ、な、が、  
こゝろ、う、こゝろ、あ、り、な、し、初、え、あ、な、  
と、是、こゝろ、は、う、な、り、え、ん、こゝろ、あ、な、  
な、あ、れ、い、こゝろ、と、う、な、こゝろ、い、こゝろ、

し、の、ひ、初、を、用、い、こゝろ、い、こゝろ、  
併、は、と、こゝろ、と、あ、り、こゝろ、と、  
初、り、え、ん、こゝろ、園、の、氏、こゝろ、  
え、ん、こゝろ、と、え、ん、こゝろ、と、え、ん、こゝろ、  
と、い、こゝろ、と、え、ん、こゝろ、と、え、ん、こゝろ、  
初、り、え、ん、こゝろ、と、え、ん、こゝろ、と、え、ん、こゝろ、  
と、い、こゝろ、と、え、ん、こゝろ、と、え、ん、こゝろ、

[illegible]

7

[illegible]



八月のりりやうとて  
 吹風のそしき山を  
 月日わりやうとて  
 西のまきと金曲とふふ曲とふ方知者とせと可也

字述二年初秋吉日

金曲とふ方知者  
 八月のりりやう

一書悔ハ 息ノ曲位  
 二書悔ハ 息ノ曲位  
 三書悔ハ 息ノ曲位  
 四書悔ハ 息ノ曲位  
 五書悔ハ 息ノ曲位  
 六書悔ハ 息ノ曲位

奥ノ曲ハ曲位ノ格ハ  
 六輪一両路也

初針ハ曲ハ曲位ノ格ハ  
 山下ノ曲ハ曲位ノ格ハ  
 落葉ノ曲ハ曲位ノ格ハ  
 孟客ノ曲ハ曲位ノ格ハ  
 智曲味事 孟客ノ曲ハ

金春家

卷之八

金春家所出於秦河勝歷  
代秘曲傳家叔目一人而  
其地廣子傍孫遂不能窺  
閫奧於萬一矣雖然如是  
兄七郎氏勝不幸而早世  
故老父家傳

之秘奧相續而欲傳之子  
孫而以及後世者家傳  
秘曲教授於我所令相傳也  
今又汝家傳秘曲不遺所  
令教授也真令斷絕矣

丙曆二年丙申

金書八月

九月二日

六十九

金書八月

金書七月















